

事業番号	045
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	平成夏まつり支援事業						担当部	地域活性化営業部		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	シティプロモーション課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	にぎわい創出係		
	総合計画分野別計画	主目的	5 産業・交流		18 シティプロモーション		3 魅力あるイベント・まつりを開催します				
		副目的									
	予算区分	款	7	項	1	目	4	大	3	中	2
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	平成夏まつりは、平成元年から友好都市の八雲町の山車行列を参考に始められた。参加者だけでなく、観客も楽しむことができるように、すばらしい山車やパフォーマンスを披露することにより、市民活力の向上とするだけでなく、中心市街地活性化にも貢献する。									
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 企画運営は、参加団体等によって構成される実行委員会が主体となって行うため、市は補助金の交付などの支援を行っている。また、事務局として各機関との調整・準備など実行委員会の補助を行った。 <p>※第25回平成夏まつり内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 小牧の中心街を行灯山車(ねぶた山車)がパフォーマンス(ハネト踊りやよさこい)や太鼓演奏とともに練り歩いた。 一般公募を含む審査員やインターネット投票による、優秀な山車・パフォーマンスの審査 手筒花火を中心とした打ち上げ花火と和太鼓、レーザー演出の競演によるフィナーレの実施 織田信長公の小牧山城築城450年記念事業とタイアップし、小牧の魅力を発信した。 <p>◆25年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成夏まつり補助金 19,000千円、その他 2,534千円 <p>◆26年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成夏まつり補助金 18,000千円、その他 3,155千円 									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	17,525	18,824	21,534	21,155	
		正職員	従事者数	人	0.85	0.85	0.85	0.85
			人件費	千円	4,471	4,471	4,471	4,471
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	21,996	23,295	26,005	25,626		
	対前年比	%		105.9	111.6	98.5		
財源	一般財源	千円	21,996	23,295	26,005	25,626		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業 績	活動指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	参加団体数	団体	目標	23	23	23	23
			実績	21	17	20	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	来場者数	団体	目標	75,000	75,000	95,000	95,000
			実績	83,000	91,000	95,000	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成25年度の 実施結果	事業の達成状況	平成25年度は織田信長公の小牧山城築城450年記念事業として実施し、信長山車の作成、観光大使・憲俊の参加など平成夏まつりをとおして小牧の魅力を大きく発信することができ、来場者数も目標の95,000人を達成することができた。参加団体も前年よりも3団体増え、まつりを盛り上げた。			
		事業実施における課題	山車製作の期間が短く、参加団体にとって負担となるという意見も多数見受けられたため、山車製作の期間を延長するなどして参加団体の負担を軽減する必要がある。また、近隣では珍しい行灯山車によるまつりを小牧市の魅力としてしっかり周知することは、今後の来場者の増減にも大きく関わると思われるため、PRの方法を工夫する必要がある。			
		事業を縮小・廃止したときの影響	小牧平成夏まつりは、平成元年から友好都市である八雲町の山車行列を参考に始められ、友好関係象徴の一つである。参加団体およそ20、来場者数9万人を超える市内最大級のイベントとなっている。市民の楽しみ・憩いの場であると同時に地域間コミュニケーションにも大きな役割を果たしている。以上より、事業を縮小・廃止した時の影響は大きいと考える。			
		平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	山車製作の期間の短さに起因する負担を軽減するため、山車製作期間の延長を行う。また、当まつりの認知度をさらに向上させるために、各参加団体の山車の製作や踊りの練習風景などを小牧市公式フェイスブックページに掲載するなど、情報発信を積極的に行う。		
		平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)	
		判定理由	これまで実行委員会の中でまつりをより盛り上げるためのあり方等を検討してきたが、平成25年の小牧山城築城450年記念事業の成果を継承すべく、外部の委員も交えてイベント検討委員会を立ち上げ、イベントのあり方等を研究することを予定しているため。			
		27年度以降の改善案	イベント検討委員会での検討結果を踏まえて、今後平成夏まつりについても見直し等を行う必要がある。			

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。 市として今後のイベントのあり方を検討するイベント検討委員会での検討結果を踏まえ、必要に応じて事業の見直しを行うこと。